

教科・科目		対象学年	単位数	教科書
芸術・美術 I		2	2	日本文教出版・高校生の美術 1
科目の概要と目標		<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質、能力を育成する。 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。 ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 ・美術の幅広い創造活動に取り組み、美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。 		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1 学 期	オリエンテーション	美術とは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・「高校生の美術 1」の学習計画を把握したり、授業に臨む心構えを理解することができる。 ・身近なものを見つめ直し、よさや美しさに気付き、感じ取ったことや考えたことなどを基に構想を練り、配置や構図を工夫して表現することができる。 ・ポスターの「伝達」の機能と役割について考え、伝えたい内容が効果的に伝わるようイラストレーションや文字を検討し、配置や配色を工夫して、学習発表会ポスターを構想し、制作することができる。 ・表現の方法や形体、題材等に着目し、日本の美術の魅力、広がり、つながりを考え、日本の美術の美意識や自然観などを理解することができる。 	
	絵画	身近な風景を描こう		
	デザイン	ポスターをつくろう		
	鑑賞	日本美術よさや特質を味わおう		
2 学 期	映像メディア表現	写真で表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・表したいイメージを基に、構図や画面構成を考え、光や影の効果などを工夫しながら写真表現を行うことができる。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、存在感や美しさなどが感じられる作品を作ることができる。 ・形や色彩などの効果を考え、構想を練り、全体のイメージを捉えて、材料の特性を生かして、美しく機能的なパッケージをデザインすることができる。 	
	木彫	ペーパーナイフをつくろう		
	造形・デザイン	パッケージのデザイン		

3 学 期	絵画 鑑賞 オリエンテーショ ン	人物を描こう 現代の美術 これからの私と美術	<ul style="list-style-type: none"> • デッサンスケールを用いて画面の入れ方、構図や表情、色彩の効果、全体のイメージをとらえ、アクリルガッシュの特性を生かして表現することができる。 • 現代美術の多様性と背景を知ること、作品に対する自分の考えをもつとともに、美術文化への理解を深めることができる。 • 生活と美術の関わりに目を向け、これから生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのか考えるとともに、「美術とは何か」について1年間の学びとともに振り返ることができる。
-------------	-----------------------------------	--------------------------------------	---